特定非営利活動法人 まちなか考房
入会ご案内

会員募集中

一緒に長岡の「まち」を楽しみませんか？
私たちは、長岡のまちをもっと知り、まちを楽しみ、まちの文化を大事にしていきたいと活動を続けています。趣旨に賛同いただき、一緒にまちを楽しんでいただける、そして一緒にまちを元気にしたいと願う皆さんを募集しています。

（主な事業）

・バル街事業　・ぶら散歩企画　・情報発信（会員の皆様からの情報も配信）
・講演会、シンポジウム企画　・各種イベント等支援（チラシデザイン、印刷から運営協力等）　・その他（まちを元気に!というさまざまな事業企画）

（会員種別）

（１）個人会員	年会費	５千円
（２）法人・団体会員	年会費	１万円
（３）応援団（サポート会員）	年会費	２千円

※議決権を有しない会員。各種事業のお知らせやイベント時の会員特典を受けられます。

（入退会）

入退会はご自由ですが、事務手続きの関係上、必ず事前に事務局までお届けいただきたくお願い申し上げます。

別紙入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局までお申し込みください。
（ホームページからもお申し込みできます。）

特定非営利活動法人　まちなか考房

代表理事　小川峰夫　（事務局長　大沼広美）

〒940-0062　新潟県長岡市大手通 2-2-6 ながおか市民センター２F
電話 0258-36-3240　FAX 0258-36-3247
mail info@machinaka.biz
http://koubou.machinaka.biz/

(有)アーキセッション　(株)パートナーズプロジェクト　中興ビルヂング(株)　長岡商工会議所　(株)北越時報社
協同組合新潟県異業種交流センター　越後交通(株)　(株)鈴木コーヒー　(有)小室建設　(株)CSオオハラ
(株)樋熊商店　(有)レオサイン　(株)テッケン　バーデンバーデン　たちばな本舗　(有)杜々　NBA中越支部
すし・和風料理 米八　(株)新川屋　料亭 かも川館　料亭 いまつ　(有)寿々瀧ちいぼう・すずきち・青空酒食堂
高頭不動産(株)　岩塚製菓(株)　三越タクシー(株)　信越工業株式会社　株式会社越後８０８
株式会式Deux-PLAN（ドゥープラン）　割烹 魚仁・レストランUONI　株式会社 中越
IRISHPUB SHAMROCK　十代目吉蔵　(有)光影スタジオ　(株) 髙野総合保険　(有) 喜京屋
Kuraphoto+　株式会社グラーツィエ　BiSTRO BOULEAU BLANC
（法人会員 35・個人会員 40）

（まちなか考房HP）

まちなか考房　（2014年3月制作）

特定非営利活動法人
まちなか考房

2003~2014年

ごあいさつ

「NPO 法人まちなか考房」の前身である「長岡タウンマネージメント企画運営会議」は、平成 15 年 4 月 1 日に発足をしました。

長岡市民にとって「まち」である中心市街地の活性化という目的をもって、議論だけではなく、実践を! とスタートしました。

当時は、全国で TMO 構想が動き始め、滋賀県長浜市での「黒壁のまちづくり」や長野県飯田市の「飯田まちづくりカンパニー」等、全国の取り組みを勉強しつつ、長岡でのまちづくりに夢を馳せ、暗中模索の中、さまざまな取り組みにチャレンジを! と動き始めました。

拠点施設とした「まちなか考房」は、大手通り旧覚張書店さんの閉店を受け、その跡地を活用し、多くの皆さんとともに壁面のペンキを塗り替え、ホームセンターで購入したタイルカーペットを敷き詰めるなど手作りでの空間作りを行ない、まちの情報発信をはじめ、長岡造形大学ギャラリー、長岡戦災資料館を併設、まちなかコンサートなど手がけ、その後にはチャレンジショップの運営等にも取り組みました。

この 10 年で、長岡市の「まちなか」は大きく変貌をとげ、当時の拠点施設「まちなか考房」（覚張書店跡）はフェニックス大手ビルイースト（現、第四銀行）に、中越地震復興イベントの会場とした厚生会館前広場は「アオーレ長岡」と生まれ変わりました。

10 年の節目を迎え、NPO 法人まちなか考房は、さらなる前進を目指し、皆様方のご協力とご支援を頂きつつ、そして共に! 長岡のまちを元気にしてまいりたいと考えております。

2014 年 3 月
特定非営利活動法人 まちなか考房

まちの文化を引き継いでいきたい

かつて、昭和５０年代の前半ころまでは、デパートが５、６店舗もあり、映画館や娯楽施設が集積し、料亭も１００軒近くあり、昼夜とわず人が行き交い、週末の土日には、肩と肩をぶつけ合うほどだった大手通界隈でした。「まち」に行けば、誰かに会える!何も無くても、町に遊びに行こう!と、この駅前周辺や、厚生会館の周辺には人で賑わっていたと言われています。

郊外分散化した街と高齢化・人口減少は否めない現実であるけれど、その中でまちを「私たちのまち!」として長岡の文化と共に築いていきたい と考えています。その昔、城があり、多くの偉人が長岡を作り今、ここに私たちがいます。私たちは子ども達に、次世代へと引き継ぐことが重要な役割と考えています。

ハード面では大きく変貌を遂げている現在、まちの使い方、まちで商売している元気な店主達と沢山の人を繋げる、そんな活動を続けてきました。中越大震災復興イベントでは、イベント事業のノウハウを身につけ、「まちあるき」で歴史に触れ、新たな発見をする。店主を講師とした「探見録」で拘りを聞き、店主の人柄に触れる。駐車場を利用したビアガーデンは、雨によるハプニングで笑いが起きる。「ワークショップ」では、他世代の意見を知る。シンポジウムで学ぶ。こうした数々の事業を継続し、平成２１年に出合えたイベントバル街は、これまでの集大成とした「ながおかバル街」として開催しています。

きっと笑顔は出逢いを『出愛』に変える

行政や関係団体との連携の難しさも知り、そうたやすくまちづくりが出来るものではないことも承知しています。ですが、この１０年の経験を積み、私たちがやってきたことの一つ一つは長岡の地に種をまいてきたと自負しております。

ご年配の方達も、まちはこのままでいいのか?と真剣に考え、自分たちに何が出来るか、を考え、勉強会を開催しまちに関わる人達の声を聞こうとしていたり、まちなかで活躍している若者（20~30 代）も沢山います。彼らは、学生時代にこの「まちなか」で遊び、買い物をした経験をもっているからこそ、まちと関わっていたいと感じ，商売をしています。先代が築いてきた店を守り、そして、拘りを持ち、切り開いて行こうとしています。そんな人達の目は輝き、活き活きとした顔をしています。私たちはそんな人達と一緒に活動し、沢山の人々の笑顔、笑い顔をこのまちで作って行きたく今後も活動を続けて参ります。

（事務局長 大沼広美）

まちなか考房

活動のコンセプト

**私たちはまちなかを舞台とした、
まちづくりのプラットフォームを目指します。**

これまで、そして将来を見据えた中心市街地の課題と需要に加え、任意団体の3年半における経験と蓄積から、3つの活動コンセプトが設定された。

1．人をあつめる～中心市街地にわざわざ足を運ばせる機会を提供

まちなかに市内外の人を集めるイベント（事業）の企画・運営に関する、これまでに経験・蓄積してきたノウハウを積極的に活用しながら、タウン・イベンター的な役割を専属的に担う組織として発展的展開を図っていく。

2．人を繋げる～中心市街地で活動する人・組織の関係性を強化

行政と純粋民間の間を取り持つ触媒となりうる組織の性格や位置付けを背景に、各種市民活動や NPO 活動同士、あるいは、それら活動主体と行政を結びつける役割を担う組織として、あらためて展開を図っていく。

3．まちを売りだす～中心市街地のセールスプロモーションを実践

“まちを売る”をスローガンとしつつ、伸ばし、改善するべきまちなかのポテンシャルを見極めながら、民間及び行政によるまちづくりのハードとソフト両面に関する総合プロデューサーとしての展開を図っていく。

任意団体
「ながおかタウンマネージメント企画運営会議」
（平成15年4月1日設立）
↓
特定非営利活動法人
まちなか考房
（平成19年11月1日設立）

10.23 復興イベント

中心市街地活性化シンポジウム

イルミネーション

しゃべり場

事業・活動内容

1．情報発信事業

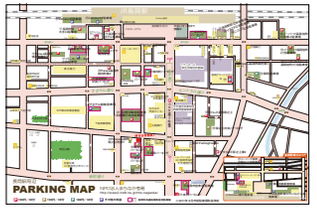
伝えたい！まちの発見

まちなか関連マップの制作

まちなかの各種マップを成作。ぶらさんぽマップは店主の人柄（顔）に注目し、イラストデザインとマッチし、人気のマップとなった。他にバーマップなど。

情報誌「まちなか」の発行（Vol.1～Vol.22）

中心市街地（まちなか）に関連する様々な情報に加え、NPO 活動の報告を含めた情報誌を随時発行！まちの魅力発見を行うなか、多くの市民に対し、まちなかでの楽しみ、愛着を感じてもらうことのできる情報の発信。



駐車場マップ

歴史・文化散策マップ

ぶらさんぽマップ

2．意識啓発事業

考えたい！まちのコト

中心市街地活性化シンポジウム等

市民を対象とした意識啓発

より多くの多世代にわたる市民を対象に、しゃべり場といったフリ-トークの場から講師を招いた勉強会等を幅広く開催。

関係者・関係団体を対象とした意識啓発

中心市街地活性化に向けた手法や組織等のあり方等についての勉強会やセミナー等を定期的に開催。
また、活性化イベント主催者を交えたシンポジウムはよりわかりやすく実践につながっていると考える。

まちづくり関連ワークショップ

市内小学生を対象とした「まちづくりデザインゲーム」を開催し、自分たちの街をどう考えるか、将来、どんな街でありたいかの夢をふくらませる。
また、長岡の魅力発見を目ざした「ながおか元気わくワークショップ」等を年間を継続して開催。新たな魅力発見と、これまでの意見交換から参加者を巻き込んで展開するマップ、サイトの作成と進展中。

その他

市内大学生や高校生等との協働企画を検討！
総合学習としての年間を通したまちづくり研究や、各種イベントを通した OJT や中心市街地を題材とする研究のサポート等を実施。

3．イベント事業

まちを楽しんで！使って！

中越地震復興イベント

平成16年10月23日午後5時56分の震災発生後、復興のシンボルとしての中心市街地において、犠牲者の冥福を祈り復興祈願イベントを企画実施。現在も継続し、開催。

まちなか散策、まちなか発見イベント

観光ボランティアガイドと連携し歴史の紹介を合わせたまちなか回遊や、個店の魅力を直に体験し、発見する「まち探見録」を継続的に実施。

まちのコンシェルジュ育成

長岡の歴史を学び、接客サービスの向上として、バーテンダー協会の自主的な勉強会の補助。

ハロウィン企画

県立長岡商業高校、新大附属小・中学校、専門学校の学生が各コーナーを持ち、まちを使ってハロウィン会場に化した。今年も商業高校生を主体に展開する。

その他、活性化イベント

再開発事業、工事期間中に設置される仮囲いを使っての演出や歩行者天国での出店。また、長岡の歴史ある老舗料亭、芸妓、和文化の饗宴企画、まちを使ったネットゲームなど非日常的利用。

まちなか考房

まちなか考房 活動年表 ①

■イベント等企画運営事業　■意識啓発事業（シンポジウム・ワークショップなど）　■情報発信事業（情報誌・各種マップなど）　■その他

1・18 ■「長岡のまちづくり～中心市街地が担うべき役割～」／大西隆講演会
12・○ ■「ながおか・まちなか　ギャラリーマップ」　発行
11・26 ■「長岡の中心市街地とまちづくり」／池澤寛講演会
11・21 ■震災を契機とした「長岡・まちなかの都市再生」／家田仁講演会
11・5 商店街の明日はどうなる？／福岡政行講演会
10・○ ■「まちづくりはみんなの手で」まちづくりのサバイバル術
10・23～11・26 ■中越大震災復興支援カレー　製作販売
■「中越の四季50景」「明治時代の長岡歳時記」絵画展
（長岡市震災1周年復興祈念イベント）
10・23 ■「復興の集い」震災米ロールケーキ作り～100メートルに挑戦！～
8・1～8・21 ■「いわさきちひろ複製画展」同時開催「東京大空襲原画展」
7・12 ■「まちなか・考房」情報誌第5号　発行
6・12 ■獅誠館による獅子舞の披露（ホコ天）
5・○ ■ながおか「イイトコロ」展　其の四「まちなかのベンチ」
（新潟県中越地震・復興支援事業チャリティライブ）
5・1 ■「チャリート&ブルーノートJAZZ LIVE」
4・○ ■ながおか「イイトコロ」展　其の参「まちなかプチ芸術めぐり」
（新潟県中越地震復興支援事業）
4・23 ■「全国一流シェフによるカレー料理の饗宴」

平成17年度　市町村合併（長岡、中之島、越路、三島、山古志、小国）

3・23 ■「震災からの復興～中心市街地はどうあるべきか、我々はどうするべきか～」（しゃべり場）
（中越地震・震災復興イベント）
1・22 ■「ロイヤルチェンバーオーケストラ被災地慰問コンサート」
12・23 ■「中越・夢百俵」～復興への足音が響き始める（中越大震災復興イベント）
12・3 ■ジーコJAPAN長岡慰問
11・4 ■Something Else応援ライブ
（長岡技術科学大学公開）
10・15 ■「匠陵講演会」～コイに引かれて宇宙まで～　御手洗玄洋
9・25～9・26 ■「ダンボールを使ってオブジェを造ろう」講座　中央公民館
9・25 ■厚生会館地区交流イベント「まちなかステージ」
7・23～8・31 ■第2回どうぞのいす
7・21 ■「ながおかつっこみ大会（まちなかに来てみたら…）」（しゃべり場）
7・10 ■「まちなか・考房」情報誌第4号　発行
7・○ ■ながおか「イイトコロ」展　其の弐「長岡駅」
／（財）長岡芸術文化振興財団との共催事業（まちなかコンサート）
6・19 ■高田元太郎コンサート～ギター紀行 スペインから南米まで～
5・○ ■ながおか「イイトコロ」展　其の壱「まいまいひめ」

平成16年度　中越大震災 10・23　新潟・福島豪雨 7・23

3・24 ■「まちをどうやって元気にするか？」／村木美貴講演会（タウンミーティング）
～イギリスのタウンセンターマネージメントから～
3・15～3・31 ■第1回どうぞのいす
2・26 ■「まちなかって何？何がしたい？」（しゃべり場）
2・15 ／保井美樹講演会（タウンミーティング）
2・13 ■「まちなかを盛り上げる主体の検討-アメリカのBIDの経験から」
12・4 ■「2025年長岡の未来像」セミナー&パネル展　講師／池澤寛
12・3 ■造形大地域プロジェクト演習発表会
11・17～12・8 ■「長岡についておしゃべりしましょう」（しゃべり場1～3回）
11・3 ■「中心市街地活性化とは！」／藻谷浩介講演会（タウンミーティング）
10・4 ■トルコ展／地球広場「トルコ特集」共催事業
9・30～11・9 ■ながおか母ちゃんのあったか市（ホコ天）
9・13 ■縄文土器のデザイン展
丸太椅子制作（ホコ天）
／コメンテーター村木美貴（タウンミーティング）
7・30 ■「平成15年度まちなか活性化への取り組み」
7・12～8・17 ■椅子展
■「まちなか・考房」情報誌創刊～3号　発行
7・12 ■オープニングイベント「バルーン&おもしろ自転車」
■「まちなか・考房」オープン
6・15 ■「いのちのあさがお」を育てよう（ホコ天）
4・1 ■「ながおかタウンマネージメント企画運営会議」　設立

平成15年度　「まちなか・考房」オープン 7・12

ながおかタウンマネージメント運営会議から特定非営利活動法人まちなか考房へ（法人格取得）

2・16 ■まちなかコンサート5　県内大学生吹奏楽部合同演奏会　開催
11・20 ■「長岡市中心市街地活性化協議会」　設立
11・15 ■「長岡市中心市街地整備推進機構」　指定
10・31～11・4 ■「景観しよう！」建築と都市を考える会第2回グループ作品展
11・1 ■「特定非営利活動法人まちなか考房」　設立
（新潟県中越沖地震・中越大震災3周年復興祈念事業）
10・23 ■「まちなかイベント～灯り・食・音～」
10・16～10・28 ■天地人絵巻展／新潟日報社
8・29 ■まちづくりセミナー／藻谷浩介講演会
8・25 ■老いを考える会講演会
8・18 ■中心市街地活性化&中越大震災・中越沖地震復興チャリティイベント　開催
8・1 ■カクテルブースin長岡まつり前夜祭
7～10 ■まちなかコンサート2～4／長岡JAZZストリート　開催
7・12 ■「オリジナル弁当」「まちなか・考房」オープン記念　販売
7 ■「まちなか・考房」リーフレット　発行
5・5 ■まちなかコンサート1／技術大・造形大吹奏楽部合同演奏会　開催
5 ■ラウンジ「まちなか」　開設
4～ ■情報誌「まちなか・考房」9～10号　発行

平成19年度　中越沖地震 7・16

3・○ ■「ながおか歴史・文化散策マップ」　発行
（中心市街地活性化への取り組みに対する診断・助言事業）
1・25 ■専門家とのフリーディスカッション

1・24～2・4 ■まちなか・考房改修計画パネル展／長岡造形大学環境デザイン学科2年
12・8 『TM組織化、具体の事業展開可能性他』（第3回ブレーンストーミング）
12・3～3・23 ■メモリアルイルミネーション事業　駅前大ケヤキ
11・21 ■NAGAOKA BAR MAP発行／（社）日本バーテンダー協会中越支部
10・23～12・25 ■メモリアルイルミネーション事業『大手十字路四つ角』
10・23 ■「復興の灯」（中越地震・復興2周年祈念イベント）
10・21 ■長岡JAZZストリート／長岡JAZZストリート実行委員会
10・11～10・24 ■摂田屋水彩画大会作品展／NPO法人醸造の町摂田屋町おこしの会
10・4 ■「中心市街地の将来像を語る～市民にとってハレの場とは～」（公開意見交換会）
10・○ ■まちなかマップ　制作配布
9・21～10・4 ■長岡花火写真展／長岡ピースコンサート
9・16 ■老いを考える会講演会／老いを考える会
9・14 ■『TM事業展開の方向性』（第1～2回ブレーンストーミング）
8・2～8・3 ■バーテンダー協会によるカクテルブースin KouBou
7・25 ■「まちなかショップ」オープニングセレモニー（チャレンジショップ事業）
7・14～8・20 ■新長岡のヒーロー・ヒロイン画展／（社）長岡青年会議所
FM新潟で毎木曜昼12時から放送（中越大震災復興支援企画）
7・○ ■「越後長岡グルメリポート～新長岡市へようこそ～」
（中越大震災復興支援企画）
6・28 ■「中越大震災復興支援カレースペシャルディナーパーティー」
6・13 ■「まちなか・考房」情報誌第7号　発行
4・27 ■「動き始めたまちなか再生プロジェクト」（中心市街地構造改革シンポジウム）
4・9 ■アルビレックスチアリーダーズスクール長岡校開校
■アルビレックス新潟・丸山選手トークショー
4・1 ■「まちなか・考房」情報誌第6～8号　発行
■長岡市制100周年・合併記念イベント

平成18年度　市制百周年　市町村合併（和島、寺泊、栃尾、与板）

3・10 ■「ブランドづくりから見た店づくり」／小出正三講演会
2・22 ■「まちなか再生-中心市街地の構造改革」（パネルディスカッション）
2・11 ■アンサンブル演奏会「ながおか木管幼稚園」～冬のおゆうぎ会～

まちなか考房

まちなか考房 活動年表 ②

■イベント等企画運営事業　■意識啓発事業（シンポジウム・ワークショップなど）　■情報発信事業（情報誌・各種マップなど）　■その他

7・23 ■「まちなか活性化とは?」／今井晴彦・山崎捷子（中心市街地活性化シンポジウム）
7・22 ■まち探見録 其の四「大人だって楽しめる!消しゴムはんこ作り」
7・15 ■まち探見録 其の三『ダーツの楽しさをおしえてもらっちゃお』
7・7 ■まちなかビアガーデン
6・22 ■まち探見録 其の二「misoスイーツの堪能とエコバッグ作り」
6・18 ■まち探見録 其の一「『バーテンダーの気分になって』
4・16 ■桜ギャラリー&カフェ

平成23年度

大手通中央東 市街地再開発事業 完成
スカイデッキ 完成

3・5 ■探見ぶらさんぽ～ひなめぐり（越後長岡ひなものがたり関連イベント）
2・10 ■「ながし雛」「カリグラフィーとおひなさま」
1・10 ■消防出初式
12・6～1・15 ■大ケヤキイルミネーション事業～28万人の灯り
11・9 ■探見ぶらさんぽ～甘味処味わいコース
10・23 ■「中越大震災～復興の灯り」
9・29 ■ぶらさんぽマップ　発行
7・7 Jazz&BeerParty inまちなか
6 ■まちなかビアガーデン
6・ ■情報誌「まちなか」21号　発行
4・16 ■バーテンダーまちのコンシェルジュを目指す（勉強会3～5回）
■桜ギャラリー&カフェ

平成22年度

大手通中央西 市街地再開発事業 完成
市町村合併（川口）

3 ■「おひなさま料理を楽しむ」「ひなカクテル」／バーテンダー協会（越後長岡ひなものがたり関連イベント）
2・20 ■「バーマップ」　発行
2 ■バーテンダーまちのコンシェルジュを目指す（勉強会1～2回）
2 ■消防出初式
1・10 ■大ケヤキイルミネーション事業～28万人の灯り
12・6～1・15 ～中心市街地活性化のために～まちづくりのプラットフォームを目指して～
■中心市街地活性化推進施策説明会（北陸ブロック）　講演（中心市街地活性化シンポジウム）
11・7 ■「食によるまちなか活性化」／樋口勝博・樋口十旨張・上村知世
11・1 ■「10.23中越大地震復興祈念イベント～あの日から5年～」
10・23 ■再開発事業仮囲い壁面活用
7 ■まちなかビアガーデン
7・7 ■情報誌「まちなか」18～20号　発行
6・ ■桜ギャラリー&カフェ
4・11

平成21年度

長岡南越路スマートインターチェンジ 開設

2・28 ■「ひなひな大作戦」～輝くあなたへビフォーアフター～（越後長岡ひなものがたり関連イベント）
丸亀町商店街の活性化の取組みについて　参加
1・26 ■平成20年度商店街近代化講習会
1・19 ■中心市街地活性化促進セミナー・シンポジウム
1・4 ■一宮市まちづくり懇談会　視察対応
12・14 ■新春まちなかイベント～消防出初式
■わがまち再発見～まちなか散策ツアー／基本計画認定記念まちづくりシンポジウム
11・ ■「まちが変わる!動き始めたまちなか再生」
12・8～1・15 ■大ケヤキイルミネーション事業～28万人の灯り
10・23 ■「復興の灯・集い」（中越地震震災4周年復興祈念事業）
8 ■再開発事業仮囲い壁面活用
7～ ■情報誌「まちなか」13～17号　発行（ありがとう厚生会館イベント企画）
7・5 ■「ONE LOVE 長岡」
6・21 ■「まちなか・考房」移転・リニューアルオープンイベント
6・1 ■「SHOT BARまちなか」（ホコ天）
4・19 ■桜ギャラリー&カフェ

平成20年度

※平成20年度より長岡市中心市街地活性化協議会との共催事業となる（一部除く）

3・15 ■「まちなかを活かす・楽しむ・まち育て」／海道清信　三石秀樹　北原啓司（中心市街地活性化シンポジウム）
3・3 ■「琴の音色と共にひなランチ」和の文化と共に料亭の味に舌鼓
3・2 ■ぶらさんぽ～ひなめぐり
2・28 ■「長岡芸妓にふれるひな会席」和の文化と共に料亭の味に舌鼓
2・14～3・14 ■「ホワイトエリア」
11・26 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ8　中心市街地活性化シンポジウム
11・23 ■「今のまちなか　これからのまちなか」　北原啓司
10・26 ■ハロウィン長岡2013
10・23 ■「中越大震災　復興の集い」
10・6 ■第10回 日本都市計画家協会賞　優秀まちづくり賞受賞
9・11 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ7
9・7 ■ながおかバル街vol.4
8・21 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ6
7・24 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ5
7・11 ■まち探見録「ぐい呑みを作ろう」
7・9 ■まち探見録「寿司食いねえ!握りだ!」
6・26 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ4
5・24 ■ながおかバル街vol.3
5・23～24 ■全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議総会・勉強会　長岡大会
4・25 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ3
4・20 ■桜ギャラリー&カフェ

平成25年度

まちなか考房 十周年

3・26 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ2
3・2 ■ぶらさんぽ～ひなめぐり（和の文化と共に料亭の味に舌鼓）
■「長岡芸妓にふれるひな会席」「琴の音色と共にひなランチ」
3・1～3 ■「香道と投扇興を体験」
2・25 ■「まちなか元気がワクワーク」ワークショップ1
1・16 ■地域問題研究会（名古屋）にて講演
11・10 ■「秘宝を探せ」ネットとリアル体験ゲーム（エンジン02）
10・27 ■ハロウィン長岡2012
10・23 ■ながおかバル街vol.2
■「中越大震災　復興の集い」（中心市街地活性化シンポジウム）
9・26 ■「まちなかに笑顔を!アオーレ長岡をどう活かす?」
8・26 ■「100のアイデア」ワークショップ
8・9 ■女性だけのしゃべり場
6・29 ■まちづくりデザインゲーム（表町小学校）
6・20 ■まち探見録「長岡野菜を使ったクッキング」
6・1 ■ながおかバル街vol.1
4・21 ■桜ギャラリー&カフェ

平成24年度

アオーレ長岡 完成 4・1

3・12 ■まち探見録「ひな人形のあれこれ」
3・9 ■まち探見録「オーガニックフードとマクロビオテック」
3・7 ■街を楽しむまちづくり／山﨑隆（中心市街地活性化シンポジウム）
3・2～4 ■探見ぶらさんぽ～ひなめぐり
2 ■「和菓子セットを喫茶店で」（越後長岡ひなものがたり関連イベント）
2 ■「創作ひな人形の制作・展示」「雅楽の演奏と紙芝居」
1・8 ■消防出初式
12・6～1・15 ■大ケヤキイルミネーション事業～28万人の灯り
11・9 ■探見ぶらさんぽ～甘味処味わいコース
10・23 ■「中越大震災～復興の集い」
10・8 ■探見ぶらさんぽ「幕末の長岡を歩く」

まちなか考房

ながおかバル街

まちなかが笑顔であふれる

2009年、函館でスペイン料理店のオーナーシェフ・深谷氏は、スペインとの交流イベントの開催に合わせ、函館をスペインの代表的な食文化である「バル」の街並みに見立てた飲み歩きイベントを企画・実施したのが「バル街」の始まりです。

2011年、深谷氏との出会いから「ながおかバル街」は私たちが思い描く「まちなか」の姿が！ マップを片手に「まち歩き」「飲み歩き」「食べ歩き」参加者と店舗オーナー、そして参加者同士の出会い、コミュニケーションがそこにはありました。

2012年6月1日 第1回「ながおかバル街」は、予想を超える反響をいただき、今年5月には第5回目を迎えます。また、「バル街」は現在、三条、上越、新潟、また、富山県魚津市、そして長野県長野市と広がり、北信越バル街ネットワーク会議（事務局：NPOまちなか考房）を設立し、連携を深めています。

vol.1 2012.6.1
参加店舗 63

vol.2 2012.10.27
参加店舗 61

vol.3 2013.5.24
参加店舗 68

vol.3 2013.9.7
参加店舗 63

なぜ、一日の開催？

盛り上がりが出るからです。
お祭りは人が沢山集まるから面白さが増します。
バル街はハシゴをして楽しむ企画なので、店内や、路上で同じ目的の人達が溢れている方が楽しいと思うんですよね。

参加者同士？

マップを持っている事でバル街の参加者だと一目でわかります。すると、同じ参加者という仲間意識が自然に生まれ、自然に声を掛け話をしたくなるんですね。

どの年齢層が多い？

20代後半～ご年配の方まで幅広く参加して下さっています。
土曜開催だと、早い時間から廻れる方も多く、お子さんと一緒のファミリーの姿も！

市外、県外からの参加者もたくさん！

お客様のこえ

『昔はよくまちで飲んだモンだ。今はめっきし出なくなったけど、このバル街をきっかけに、なじみだった店へ行ってみたよ。やー、マスターは変わらんかったね。』

『すごい人だ。昔はこんな感じで人が出ていたんだよね。その頃に戻ったような感じだ』

『お馴染みの店だって、いつもとは違う雰囲気になるんだから、やっぱり行かなきゃ。』

『とにかく旨い物食べて、飲んで。仲間には会えるし、新しい店も発見出来る。大将、マスターとの会話は楽しい。』

おみせのこえ

『もう、お客さんが楽しそうで、楽しそうで。自分もお店を閉めて参加したい！』

『やっぱりお客さんの笑顔を見ることが料理人の喜び！』

『最初は自分店だけお客さんが来てくれれば！と思ったけど、2回目からは違うな！と考えが変わった。バル街は色んな店を廻ってもらう。それがこの企画の楽しみ方で、まちの面白さにも繋がるんだと思った』

特定非営利活動法人 まちなか考房　定款（抜粋）

（目的）

第3条　この法人は、世代を超えた市民の交流の場を創造し、さまざまな集いや、情報の発信等を通じて、良好な市街地の形成を図り、以て、まちのにぎわいの再生、中心市街地の活性化に寄与することを目的とする。

（特定非営利活動の種類）

第4条　この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法（以下「法」という）第2条別表2号（社会教育の推進を図る活動）、及び同3号（まちづくりの推進を図る活動）、同 7号（地域安全活動）に該当する特定非営利活動を行う。

（事業）

第5条　この法人は、第3条の目的を達成するため、次に掲げる特定非営利活動に係る事業を行う。

（1）中心市街地におけるまちづくりに関する情報提供、相談、援助を行うこと。
（2）中心市街地における施設整備に関する事業。
（3）中心市街地における土地の取得、管理及び譲渡に関する事業。
（4）中心市街地における公共空地等の設置及び管理に関する事業。
（5）中心市街地における公共施設等の管理運営受託に関する事業。
（6）中心市街地におけるまちづくりに関する調査研究に関する事業。
（7）良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業。
（8）その他第3条の目的を達成するために必要な事業。

（会員の種別）

第6条　この法人の会員は次の通りとし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という）上の社員とする。ただし、人格なき社団が社員となる場合には、その団体名をもって法上の社員とする。

（1）正会員　（2）サポーター会員　（3）特別会員

「理事名簿（敬称略）」
小川峰夫　坂田晃秀　樋口秀　澤田雅浩　伊吹勇亮　猪俣雄大　大原邦夫
長谷川隆　藤井英雄　細川恭一　渡邉誠介　大沼広美
髙野裕（監査）　小室功（監査）　（平成26年3月現在）

まちなか考房